

土祭2012

ボランティアスタッフ ふりかえりシート 集計結果

(職員98枚、町民148枚 合計246枚)

2012.12

この資料につきましてご不明な点、ご質問等ございましたら
下記までお問い合わせください。

益子町役場 観光商工課 土祭事務局
☎72-8873 (平日8:30-17:15)

問1

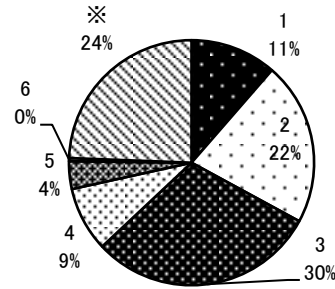
あなたが土祭開催前と土祭開催期間中に関わったチームや場所全てに○をつけてください。【複数回答】



問2

参加型で土祭を準備しているときの気持ちとして当てはまるもの1つに○をつけてください

選択肢	合計
1 とても楽しかった	28
2 楽しかった	53
3 まあまあ楽しかった	74
4 まあまあ辛かった	21
5 辛かった	9
6 とっても辛かった	1
※ 無回答	60
合計	246



問3

参加型で土祭を準備しているときにいちばん嬉しかったこと・いちばん辛かったことを教えてください。

いちばん嬉しかったこと

- ・新しい出会いがあったこと
- ・新しい仲間が出来た
- ・新しい人との出会いがあり新鮮だった
- ・暑い中みなさんと協力して泥団子の準備講習会楽しかったです。
- ・良い祭りにしましょうねと声掛けがあったこと
- ・異業種の方々と知り合えたこと
- ・いままで知らなかった人々と協働出来たこと
- ・色々な立場の方と一緒に一つの作業に取り組めたこと
- ・色々な人たちと交流が出来た事です。
- ・色々な人と交流できる
- ・色々な人と知り合いになれた
- ・いろいろな人と知り合えた
- ・おいしいと言ってくれたこと 食事作りは楽しい
- ・おいしいと言ってくれたこと 残さず食べてくれたこと
- ・多くの方にご協力いただいた事
- ・多くの方に出会えた
- ・多くの人と関わりを持つことが出来た。益子の知らない部分を見ることができた。
- ・多くの人と出会いがあって交流できたこと。繋がりを感じた。
- ・お客とのふれあい
- ・お料理を食べておいしかったと言われた
- ・終わった後の達成感
- ・会員及び関係者手弁当で参加してくれた
- ・会場準備の段階で食堂チームまとまった手ごたえを感じた。
- ・かき氷を食べたこと
- ・竈の作り方わかったこと
- ・完成したときの達成感
- ・キッズボランティアの現地研修
- ・協賛企業があったこと
- ・協力をして作業することが出来た
- ・経験できないようなことに関わることができた
- ・経験のない自分を上手に使ってくれた

- ・ 高校生と交流ができたこと。地元の方と話しが出来たこと
- ・ 公民館で食べたご飯がおいしかったです。
- ・ 御苦労さまと声をかけられた
- ・ この前よりおいしくできたと言われた時
- ・ 今回は町民の参加が多かった事
- ・ 参加いただいた方達が前向きな気持ちで関わってくれた
- ・ 試行錯誤しながら形になった時
- ・ 仕事がだんだん慣れてきたこと
- ・ 仕事したことが目に見える形になった時
- ・ 自分の興味をもったことに一生懸命取り組めたこと
- ・ 地元方たちが好意的に参加して下さったこと
- ・ 地元の人々が一つのイベントに対しまとまること
- ・ 地元の皆さんに協力してもらえたこと
- ・ 準備したものを使ってお客様が喜んでいる様子を想像したとき
- ・ 準備に参加できたこと
- ・ 商工会婦人部の方と絆を持つことができました
- ・ 職員間で協力し合うことができたこと
- ・ 食事後とてもおいしかったとおかわりして下さった事
- ・ 食事に来て下さった人から「おいしかったよ」と言われた事
- ・ 食事賄いがうまい
- ・ 所属課外の職員の方と一緒に仕事できたこと
- ・ 知らなかった町内の人と出会えてよかった
- ・ スタアの商品が思いのほか売れた
- ・ 前回と比べてメンバーと協力して準備に取り組めたこと
- ・ 沢山の方と知り合えた
- ・ たくさんのボランティアや役場の方が協力してくれて又知り合いになれたこと
- ・ 地域の方とふれあえたこと
- ・ 地域の人と関わり合って作業したということ
- ・ チームの結集力。みんな懸命に動いて達成した
- ・ チームの人との交流
- ・ チームメンバーとの交流を深められた
- ・ 町内外から土祭に関心を持ち来場されたこと
- ・ 土人形を作れたこと
- ・ 土祭事務局の人々と仲良くなれた(笑)
- ・ できあがった時
- ・ 特別な事故もなく期間内に準備終了できたこと
- ・ 泥団子製作、講座受講
- ・ 初めて光る泥団子を学ぶことができて良かった
- ・ はじめは何もわからなかったのに最後には教える立場になったこと。
- ・ 土祭がなければ知り合えなかった人たちと出会えたこと
- ・ 光る泥団子が本当に光って来るのが感動でした
- ・ 光る泥団子作りを通してみなさんと和やかに交流できました
- ・ 光る泥団子で団子に光のつやが出てきれいな色に輝いた時
- ・ 光る泥団子の作り方がわかったこと
- ・ 光る泥団子の秘密を理解できたこと(好奇心を満たせたこと)
- ・ 光る泥団子を作る体験ができたこと。準備段階から手伝いに参加できたこと。
- ・ 土祭関係者の方が優しく接してわかりやすく教えてくれたこと。
- ・ ヒジサポだったので時間に余裕があった
- ・ 非電化冷蔵庫が完成したこと
- ・ 非電化冷蔵庫を完成させることができたこと
- ・ 土祭に関係するすべての人が協力的であったこと
- ・ 土祭を通じて多くの人に知り合えた事

- ・ 普段の生活では出逢はずの無い人と出逢えましこはいいところだねと言われたこと。
- ・ 普段見られない顔つきや姿勢を感じることができた
- ・ 古い使われていなかった建屋がきれいになっていく時
- ・ ほめてもらえた
- ・ ボランティアの皆さんと色々話しをしながら楽しく活動できたこと
- ・ 賄いのおばちゃんたちの気持ち
- ・ 益子音頭が踊れたこと
- ・ 益子内外沢山の方と交流ができた事
- ・ 益子に行けたこと。みなさんに会えたこと。
- ・ 益子のことを少しずつ知ることができたこと。
- ・ 益子の地元の方と親しくなれたこと
- ・ 益子の文化や観光名所を再発見したこと。
- ・ 益子の魅力を肌で感じられた
- ・ 皆さんの協力体制が素晴らしかったこと
- ・ みんなで考えて作ること
- ・ みんなで作り上げるということ
- ・ メンバーに入れた事
- ・ 役場の方、他県の方と触れ合えてえがったよ
- ・ 友人や知人と料理を作ること
- ・ 夕焼けバーがみんなの力で完成したこと
- ・ 冷蔵庫が完成したこと
- ・ 冷蔵庫ができあがったこと
- ・ 労働
- ・ ワークショップ

いちばん辛かったこと

- ・ 暑かった
- ・ 暑かった。竹テントの作業が大変だったけど手順を覚えたことでやればできる自信につながった
- ・ 暑かったです。少し遠いので通うのが大変でした
- ・ 暑さ
- ・ 暑さ(土人形会場の設営)
- ・ 暑さと疲れ、脱水で体調を崩し寝込んだこと
- ・ 暑さの中での作業
- ・ うまく土人形をつくれなかったこと
- ・ 炎天下での作業だったこと
- ・ 炎天下の草むしり
- ・ 企画メンバーに負担をかけてしまったこと
- ・ 木を運ぶこと
- ・ 釘抜きが大変だった
- ・ 草むしりやほこりだらけの倉庫掃除
- ・ 組立など
- ・ 心と身体の休息が取れなかった
- ・ 時間外の打合せ
- ・ 時間が取れなかったこと
- ・ 時間がない中でのボランティア参加
- ・ 時間がなく毎週末準備を行わなければならなかった
- ・ 時間に追われていた
- ・ 仕事業務と平行している為時間の確保が困難
- ・ 準備時間が全く取れず、WS等準備不足で臨み多くの方に多大なる迷惑をかけた
- ・ 準備中の暑さ
- ・ 準備はあまりなかったのとくにつらいことはなかった。

- ・ 前回不参加だったため手探り状態だったこと
- ・ 大変な職員とそうでない職員の差がありすぎる
- ・ 体力的につらかった
- ・ 食べる時間が長くなること11:00-14:00過ぎまで
- ・ チームスタッフの数が少なかった。労力不足による負担増。
- ・ 通常業務が忙しい中で土祭に充てる時間を作りだすこと
- ・ 土祭に参加できなかったこと
- ・ 土日に多く出たので休みがなかった
- ・ 土日はいいが平日の業務時の準備が大変だった
- ・ 長い時間同じ場所での作業だったこと
- ・ 肉体労働がきつい
- ・ 光る泥団子に参加に団子をまとめる準備時、自分では丸くまとめているが先生が見るとだ円でなかなか丸くならないで一番最後まで残っていたこと。
- ・ 光る泥団子の裏方の仕事がつらかった
- ・ ヒジサポが参加しない場合が多く、負担が大きかった。
- ・ 非電化冷蔵庫を作ったこと
- ・ 非電化冷蔵庫を作るのが大変だった
- ・ プロジェクトの内容がかたまってから、会期までの時間が短い
- ・ ポスターやフライヤー配りが少し大変だった
- ・ ボランティアの数が少ない時があったこと
- ・ 本来の職務に影響があったこと
- ・ 本来やらなければならない分野に集中できず、やりきれなかった。その点でプロジェクトの内容に厚みを持たせることができなかった。これが悔しく辛い。
- ・ もっと作家の作品について書いてあれば良かった
- ・ 休みが削られたこと
- ・ 夕焼けバーの組立作業
- ・ 腰痛
- ・ 歴史の勉強などが覚えられず不安だった
- ・ 労働

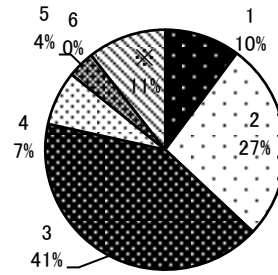
自由記入

- ・ お客との会話がとても楽しかった。町内の客、町外の客
- ・ おつかれさまでした。
- ・ グループで参加は楽しいが年なので迷惑をかけたのではと心配
- ・ 公民館での食事賄いがうれしかった
- ・ これからも参加したいと思います
- ・ 作品展示の準備を早めにやったらいいと思った
- ・ 仕事なので特には
- ・ ジュニアボランティアと一緒に観光案内をする役割だったが現地を含め何回も勉強会を持った
- ・ 食事賄いについて大関伸子さんがおうちの事もある中調整・参加と大活躍でした。
- ・ たくさんの笑顔があつていい時間でした。
- ・ 段取りがうまくできなかった。プランを練ることが大変でしたがとても勉強になった
- ・ 土祭に参加一員として出られたこと
- ・ つらくはないけど楽しいかと言われても・・・。
- ・ トイレが近くにあるとよかったかな
- ・ 日程が合わず準備に参加できなかった
- ・ はじめは少しバラバラでしたが、最後はすごい連携が感じられ大げさに言えば益子町が一つになった。
- ・ ボランティアスタッフの一員として参加させてもらい、いろいろな人と関わることができ楽しかったです。
- ・ もっとスタッフがいれば
- ・ もっとたくさんの人が参加してくれるとえーな
- ・ 料理がおいしいか心配

問4

土祭の開催期間中の気持ちとして当てはまるもの1つに○をつけてください

選択肢	合計
1 とても楽しかった	25
2 楽しかった	66
3 まあまあ楽しかった	102
4 まあまあ辛かった	18
5 辛かった	9
6 とっても辛かった	0
※ 無回答	26
合計	246



問5

土祭期間中でいちばん嬉しかったこと・いちばん辛かったことを教えてください

いちばん嬉しかったこと

- ・「ありがとう」「お世話様でした」と言われた時
- ・3町内の屋台の演奏を見られた事
- ・雨の日でも、泥団子WSが盛況だった。
- ・ありがとうと言われたこと
- ・アンケートに協力してもらったとき
- ・アンケートをとっているときに書いて下さる人が嫌な顔ひとつしなかったこと。
- ・一日が無事終わったこと
- ・今まで自分が教えてきてもらっていたものを初めて自分が相手に教えられたこと
- ・いろいろな方と話す機会ができたこと
- ・いろいろな方にお会いできたこと
- ・いろいろなことを学べたことです。
- ・いろいろな人々と知り合い話が出来たこと。
- ・いろんな作品を見れたこと
- ・色んな人が来てくれたこと
- ・受付係の時土祭をほめられた(すばらしいと)
- ・受付で案内をした後に「ご丁寧にありがとうございます」と言われた
- ・受付のとき、また見たくて来ました！とお客様から言われたとき。
- ・笑顔でありがとうと言われた時
- ・エコバックを折れるようになった
- ・おいしいと言って残さず食べてくれたこと
- ・おいしかったよと声をかけてくれたこと
- ・多くのお客様に会えた事
- ・多くのお客さんと交流できた
- ・大勢の方達が来て喜んでくれた
- ・お客様が遠方よりお越し下さっていることがわかった時
- ・お客様が説明してあげることで喜んでくれたこと。
- ・お客さまが多数お見えになったこと
- ・お客様から「よかったよ」とほめられたこと
- ・お客様から地元につ
- ・お客様と沢山話しができた事

- ・ お客様に頑張ると言われたときなど
- ・ お客様に土祭を称える言葉をいただいた時
- ・ お客様にほめていただいた時
- ・ お客様に喜ばれた
- ・ お客様の感想
- ・ お客様や出店者の方と交流ができたこと
- ・ お客様がたくさん来てくれたこと
- ・ お客様からお礼を言われたこと
- ・ お客様と話せた
- ・ お客様においしいと言われたこと
- ・ お客様の反応(ものを作る喜び)
- ・ お客様や同じ出店者の方との会話が思い出になりました
- ・ お客とのふれあい
- ・ お囃子演奏等で盛り上がったこと
- ・ 思っていたよりも良く売れた
- ・ 終わった後にほめられたこと
- ・ 終わった後の達成感
- ・ お客様が満足して帰られた
- ・ お客様にありがとうと言われたとき
- ・ お客様にありがとうと声を掛けられたこと
- ・ 関わった成果が色々な人にふれてもらえたこと
- ・ 各会場での受付係の対応(好感が持たれた)笑顔挨拶→来場者が喜んでくれた
- ・ 数多くのボランティアが協力してくれたこと
- ・ 関係者に一体感が持てたこと
- ・ 観光客の人といろいろ話し合えたこと
- ・ 観光ボランティアとして案内をして喜ばれたこと
- ・ 来てくれた人を見ること
- ・ 気の合う人がいて、1日楽しく活動できた
- ・ 救急患者が出なかったこと
- ・ グループでの参加は楽しい。皆協力的
- ・ けが人がひとりもでなかった
- ・ ご苦労さまの言葉
- ・ 快くアンケートに答えてくれたこと
- ・ 自分たちの建設したものが活用されていたこと
- ・ 自分で勉強してきたことを皆さんに助言出来た事はうれしかったです。
- ・ 自分の作ったものが使われていたこと
- ・ 自分の作ったものが展示されていたこと
- ・ 準備をした場所にお客がたくさんきてくれたこと
- ・ 商工会婦人部の人の名前と顔が一致したこと
- ・ 職員間で協力し合うことができたこと
- ・ 食事賄いがうまい
- ・ 食事を作ってボランティアの人たちにおいしいと言ってもらったこと
- ・ 所属課外の職員の方と一緒に仕事ができたと
- ・ 知り合いがたくさん来てくれること
- ・ スターネットの馬場さんにお会いできたこと
- ・ スタッフの方がとても親切だった。みんなと仲良くできたこと。
- ・ 素敵な祭りに内側から参加できたこと
- ・ 素晴らしいなど声をかけていただいたこと
- ・ 素晴らしい土祭は益子だからできるんだねとの客からの言葉
- ・ 接客に関して何度かほめられたこと
- ・ セミナーに参加できたこと
- ・ たくさんの人と話が出来たこと

- ・ チームメンバーとの交流を深められた
- ・ 知人が増えたこと
- ・ 町外のお客さんと接することができた
- ・ 町内外の方とふれあいがもてたこと
- ・ 土祭開催により益子町が情報として他地域に伝わったこと
- ・ 土祭食堂が賑わっていたこと
- ・ 土祭目当てに来た懐かしい友達と再会できたこと。友達が笑顔で帰ったこと。
- ・ 手伝い中に頑張ると言われたこと
- ・ 展示作家が会場のことよく気を使っていたこと
- ・ 遠くから来たお客さんと話せたこと
- ・ 遠くの方が益子に来てくれること
- ・ 特に傷病人がでず何事もなかった
- ・ 泥団子を作った方々が楽しかったと言ってくれた事
- ・ 仲間ができた事
- ・ 習ったことをお客様相手に教えることができ、喜んでもらえた事
- ・ 話を良く聞いてくれたとき
- ・ ピカピカの泥団子を見たこと
- ・ 土祭食堂でお昼ご飯をくれたこと
- ・ 非電化冷蔵庫を使ってもらったこと
- ・ 人々の反応
- ・ 土祭フードを全制覇(満喫)したいと毎日どこに行こうかワクワクしていた。
- ・ 昼間から公然と酒を飲めた事
- ・ 無事終了したということ
- ・ 普段なかなか行けない場所へ行くきっかけができたこと。新たな場所の発見ができた。
- ・ 普段の生活では出逢うはずの無い人と出逢えまじこはいいところだねと言われたこと。
- ・ 他からの見学者で泥団子に参加され、子供様が泥団子の光りが出て来た時に笑顔が見られた時一緒に喜びました。
- ・ 他の町の方々とふれあえたこと
- ・ ほめてもらった
- ・ まかないが食べられたこと
- ・ 益子再発見ができた事。お客様に今回の展示をほめていただいたこと。
- ・ 益子に若い人がたくさん来町してくれた事
- ・ 益子町にはいいもの
- ・ 間近に作品を見ることができ、様々な方と触れ合うことができた
- ・ 町に活気が生まれたこと
- ・ 役員の人にはげまされた
- ・ 夕焼けバーでたくさんのお客さんに喜んでもらった。
- ・ 夕焼けバーで皆と飲みにケーションで盛り上がったこと
- ・ 夕焼けバー舞台奉納囃子を多数のお客さんが聴いてくれた
- ・ 呼びかけ成功した
- ・ 喜んでくれたことと大変ですねと声を掛けられたこと
- ・ 来客が喜んでくれたこと
- ・ 来場した人がいろいろな展示を楽しんでみていたこと
- ・ 来場者が喜んでくれたこと
- ・ 来場者の方が楽しんでいるのを見たこと
- ・ 来場者の方にご苦労様ですと言われたこと
- ・ 来場者の方の笑顔
- ・ 来場者の楽しかったという声を聞いたこと
- ・ 来町者が皆とても楽しんでいるように見えたこと。
- ・ 料理を食べた人たちがおいしかったと言ってくれたこと
- ・ 若い年代のお客様がたくさん来てくれた事
- ・ 若い来町者が比較的多かった事

- ・わざわざ遠方から来たのですが楽しんで帰りたいと思いますとの声掛けがあった。
- ・来場者が喜んでくれたこと
- ・来場者の方々におほめの言葉をいただいた。細かい部分まで関心を持って見てくれた

いちばん辛かったこと

- ・ ⑭写真展で蚊がたくさんいたので大変だった
- ・ WSスタッフが少なかったのもう少し人数が欲しかった
- ・ 雨風
- ・ ありませんが、強いて言うなら簡易トイレからハエが来たのが・・・
- ・ アンケートに答えてくれなかったお客さんがいたこと
- ・ アンケートをお願いして断られた時
- ・ アンケートをとる際にアンケートを答えてくれる人がなかなか見つからなかったこと
- ・ アンケートを受け取ってくれなかった
- ・ アンケートを断られた時
- ・ 一度に多勢の来場者にとどまった事
- ・ いやー広くて疲れるねー
- ・ お金が絡み利益優先にされてしまったこと
- ・ お客さんが来ないこと
- ・ お客さんが多くて忙しかった
- ・ お昼の場所とか道に迷った
- ・ 会場となっていない地区の人たちには興味すら持ってもらえなかったこと。
- ・ ガイドブック表紙のことで大きな声を出されたこと
- ・ 企画メンバーやボランティアスタッフの体調への気づかいが足りなかったように思う。みなさんよく動いて頂けて助かった反面、申し訳ない気持ちにもなりました。
- ・ 休憩無しで働くことが多かった
- ・ 業務が多忙だったため少し疲れた
- ・ 細かい人がいた
- ・ 仕事の両立はちょっとつらかった
- ・ 質問の内容に的確に答えられなかったこと
- ・ 自分が関わったプロジェクトを見ることが出来なかったこと。
- ・ 出展する人の指示の仕方がキツイ
- ・ 照明が暗かった
- ・ 職場でクレームが出ていた
- ・ スケジュールがハードだったこと
- ・ ずっと座っていること
- ・ 台風スズメバチ
- ・ 大変な職員とそうでない職員の差がありすぎる
- ・ チームの人数が少なかったため出番が多くなってしまった事
- ・ チケットを買わされてしまった
- ・ 町民の来場が少なかった
- ・ 通常業務が忙しい中で土祭に充てる時間を作りだすこと
- ・ つかもとの石蔵にいたとき4:45頃自転車でこれから地蔵院まで行くとお客様が言った時時間内に辿りつけるか心配で少し辛かった。
- ・ つらいことはありませんでしたが、ガイドブックやNTT作成の地図がみづらかったので場所の案内をしづらかったのがもどかしいです。
- ・ つらくはなかったが、期間が長かったので何度も参加して大変だった。
- ・ 天気が悪化しびしょぬれになった
- ・ トイレが近くに無いのでちょっと困りました。
- ・ トイレの不便さ。展示会場はボランティア2名
- ・ だるだるをころころと作っていて手が疲れた
- ・ ねむたくて、講演会の時ねてしまったこと

- ・旗が折れていた時
- ・平日のお客さんが少なかった事
- ・平日の来町者数が少ないと思う
- ・毎日の天候が気掛かりでした
- ・道案内がうまくできなかった
- ・休みの日がない
- ・腰痛
- ・来場者から苦情を言われたこと
- ・稲刈り時期と重なり(米の調整含む)夜11時まで農作業を行う
- ・雨が降っていてとても寒かったこと
- ・雨が降って思うように案内が出来なかった日があった
- ・雨が降ると寒かったです。
- ・益子までのアクセス(宇都宮からバスで1時間)
- ・益子町や土祭を悪く言われたこと。
- ・寒すぎた
- ・個人的に色々多忙で、ほとんど見て回れなかった
- ・交通整理等であまり人が来ずヒマだった
- ・光る泥団子の裏方の仕事がつらかった
- ・行きが大変だったこと
- ・今回は出店日数が多かったので大変だった。あと雨が辛かった。
- ・祭をとりまく方々の間にも、世知辛い状況があることを垣間見てしまった気がする
- ・仕事をしながらお休みの日にボランティアをやったので体力的に疲れました。
- ・時間が長くずっと同じ仕事だったこと
- ・次々と客が来てトイレ(遠くにある)に行くのが大変だったこと
- ・受付してお客が1人もこなかったこと
- ・受付当番なのに会場のモップ掛け等の掃除を頼まれたこと
- ・準備だけで見に行けなかったのが残念。家事に追われ時間がなかった。
- ・準備で何度も足を運んでいたせいか、会期中他の展示を見に行くのがややおっくうになってしまった。
- ・準備等は多少大変だった
- ・準備不足や周知不足で受付の対応、案内MAPなど時間の関係でやり切れず、それが来場者やボランティアスタッフに迷惑をかけたこと
- ・暑い部屋にいらなくてはいけなかったこと
- ・暑さや会場の移動(徒歩の時)
- ・説明を無視して去られた時
- ・断られたとき
- ・泥団子タイムテーブルで11:00-13:00からの2回続けてのワークショップはちょっぴりきつかった
- ・天気の良い日は大変だったであろうと思う
- ・土日にてたので休みがなかった 立ちっぱなしで疲れた
- ・日差し
- ・日曜日の雨
- ・疲れたメニューが多かった
- ・非電化冷蔵庫の展示の仕方
- ・風雨の中での受付
- ・歩いて行くのは大変でしたし、駐車場が混んでいた
- ・毎朝、早起きをして麦茶を作ったこと
- ・猛暑だった事
- ・役場の駐車場整理は人が来なかったのでヒマでした。
- ・予想以上に人が来たこと
- ・連日出店で睡眠時間が少なかったこと。お客様が少なく張り合いにかけたこと。出店に追われてゆっくり展示を見られなかったこと。

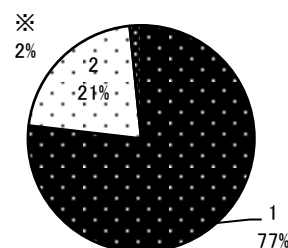
自由記入

- ・「たいしたことないお祭りですね」と言われた
- ・ イベント会場で平日なのに東京埼玉千葉方面の若い方が多くいた
- ・ いろんな県からみなさんいらして、益子の力を感じました。
- ・ 受付は一つの場所に2人必要
- ・ 器はどこで販売しているのか。この食べ物はどこで売っているの、帰りに購入したい。トイレが近くに無かったことがお客様にとって大変だったと思います。土祭の会場がほとんど見る事ができなかった。
- ・ 大関さんが気づかせてくれた
- ・ 会期中、出展作家や展示会場に来場して下さった美術関連の方々とゆっくりお話しが出来なかったことは、とても残念なことだった。その時間をとりたかった。
- ・ 会期中は特に展示会場に見に行くことくらいしか自身の活動がなく、辛く思う所はなかったです。
- ・ 観光客の人達がアートの展示や益子の自然に喜んでくれていたことが印象に残る。道祖土のスポットの素朴な風景に喜んでた。
- ・ 関西の方から来られた方などがいて、PRの普及の広さに驚きました。
- ・ 仕事なので特には
- ・ 質問してもよくわからない人がボランティアの人でいた。当たり前であると思う。説明しようにもその勉強がないのであるから。
- ・ 自分の仕事の合間に時間を作らなければならないのでつらいというか何と言うか・・・
- ・ 準備が明けて会期中は仕事の追い込みで、展示を全て見ることは難しいですね。小松義夫さんとお話しできたのがうれしかった。
- ・ 新月～満月までは長い
- ・ 食べにくる時間が遅い人達もいて大変だった
- ・ 駐車場が遠くお客様には大変な感じがしました
- ・ 労う言葉をかけていただいただけなのは嬉しいのですが、他所から来ているせいか、意見を述べても聞いていない方に響いているようには見えなかったです。こちらの言い方にもよるかもしれません。
- ・ 年齢関係なくボランティアに参加してくれたことに感謝。責任者として嬉しい
- ・ 土祭の趣旨を理解して参加してもらう必要がある
- ・ 平日のせいか食べに来た人が少なかった(残って大変だった)
- ・ 本部とのコミュニケーションがうまく取れなかった。
- ・ 店を見て回ったこと楽しかったです。
- ・ みなさんと触れ合えたことが良かった
- ・ 夕焼けバーの会場が暗かった
- ・ 来場者とのやりとりが新鮮でよかった

問6

土祭を見に行きましたか

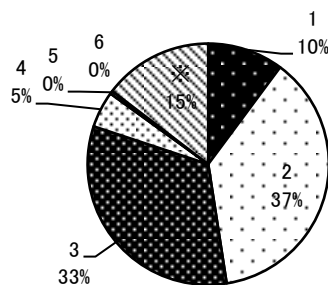
選択肢	合計
1 はい	189
2 いいえ	53
※ 無回答	4
合計	246



問7

メイン会場となった町の雰囲気について当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

選択肢	合計
1 とてもよかった	25
2 よかった	92
3 まあまあよかった	80
4 まあまあ悪かった	12
5 悪かった	1
6 とても悪かった	0
※ 無回答	36
合計	246



問8

今後も続けたい活動や育てたい活動はありますか？自由に記入してください。

活動名

- ・ 20 基礎となる技術はそのままマニファクチュア的な要素を組み入れてはどうか。
- ・ 20,29
- ・ 25興味があります。38,40またやってみたいと思います。
- ・ 7,10,18,20,27,34,39,44
- ・ 9,19,21,25,26,27,30
- ・ 案内図が欲しかった ×3
- ・ 受付、夕焼けバー
- ・ 受付を多く担当し、来町するいろいろな方とお話しできたり、仲良くなれたので、また受付してみたいと思いました。
- ・ 埋もれていて現在活用されていない立派な建物や施設を開放することは文化遺産を維持するためにも良い試みだと思う
- ・ エネルギーのこと。未来のことを考える企画は土祭にとってもいい活動だと思うので続けていきたい。
- ・ 会場設営
- ・ 観光案内等住民プロジェクト
- ・ 観光ボランティアガイド
- ・ 観光ボランティアガイドの仕事がもっとできるように勉強していきたい。今回の高校生のような若手にも関心を持ってもらい活動してもらいたい
- ・ ご近所どうしの助け合い
- ・ 子供達各町内のお囃子昔からの伝統ある物
- ・ 今回除草などをしてきていになった場所はずっときれいに保てると良い
- ・ 作品展示
- ・ 作品展示はもとより体験型で参加できるイベントは人気だと思うのでその内容のものを拡充していくのが良いと思う。
- ・ 次回も光る泥団子に参加したい
- ・ 次回もまた参加したい
- ・ 時までやれる内容をもっと増やし以外と市貝・茂木・芳賀の人が知らないかも・・・
- ・ 地元の人間としては益子の良さを案内したりPRしていきたい。他の地区の人と話す自分たちの知らない見逃していた良さなどを話してくれる。それを吸収してPRしたり、発信していきたい。
- ・ 住民プロジェクト
- ・ 住民プロジェクトは常にあってほしいです
- ・ 食事賄い 光る泥団子

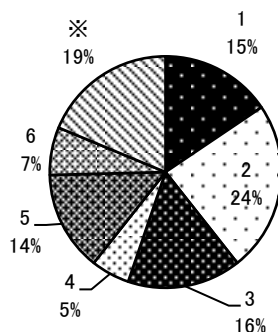
- ・ 食事賄い、マシコアースビレッジ
- ・ 食物関係
- ・ 知り合いが出来て交流の場になった。家の仕事が忙しかったけどボランティアに参加して本当に良かった。つながり＝交流は大切！！
- ・ 体力があれば支援したい
- ・ 竹テント、光る泥団子、夕焼けバー、市場、食堂
- ・ 楽しいと思えるようなボランティア。少し苦しくても周りの人たちのためひいては自分の為になるようなボランティアをしていきたい。
- ・ 町内に残る古い倉庫や建物の活用
- ・ 土人形はこれからもあった方がいいと思います。
- ・ 土人形はシンボルになりつつあるのではと思う
- ・ 土人形はまた参加してみたい。津守さんの墨絵ワークショップも楽しかった。ヒジサポ参加をもっと早くから、いろんな準備に参加してみたい。
- ・ 土祭市場や夕焼けバーなど町民参加型のもの
- ・ 出来ることはやりたい
- ・ 特にありませんが、益子には近く寄る機会がこれからもあると思うので、食事や買い物をしに行くと思います。
- ・ とにかく益子へ客を呼ぶイベント
- ・ 土祭 × 2
- ・ 土祭市場、住民プロジェクト
- ・ 土祭市場、夕焼けバー
- ・ 光る泥団子 × 6
- ・ 光る泥団子:教わった技術をいかしていきたいです。
- ・ 光る泥団子WSのお手伝い(他にも興味があるのですが時間的に難しく)
- ・ 光る泥団子作るということにもっと他にも行ってほしいです。
- ・ 光る泥団子は体験ができるので続けてほしい
- ・ 光る泥団子は続けてもいいかなあと思った。
- ・ 光る泥団子を益子で普及(先生講座を修了された方の活躍の場を提供する)
- ・ 日頃、訪れることのない益子の知られざる所を織る企画。来場者がそこで参加できるミニ企画。ワークショップ等。
- ・ ヒジノワの活動
- ・ 土祭食堂
- ・ ビルマ汁、ましこ揚げ等のご当地グルメ啓蒙
- ・ 昼間の屋台・山車の運行の参加。例として駅前から共販かつかもと製陶広場まで
- ・ 他の分野で手伝えることがあれば手伝いたい
- ・ ボランティア
- ・ ボランティア活動は続けたい
- ・ マシコアースビレッジ 夕焼けバー
- ・ 益子の今、昔の記録や生活を残す
- ・ 益子の土を利用した土人形等のオリジナルマスコットの誕生を願いたい福島県のおきあがりこぼしみたいなキャラマスコットが欲しい
- ・ また開催することを願っています。
- ・ また何かしらにたずさわって何かをつくってみたい
- ・ 町全体が一丸となって盛り立てるゆう感じがなかった。若い人達が一生涯懸命に活躍している感じはあったが何か一本ぬけている気がする。
- ・ 町並み案内、屋台の説明
- ・ 町の特色を生かしたイベント
- ・ 焼き物をリサイクルや再利用できてそれをワークショップ形式で子供達(地元)に体験させてあげたい
- ・ やはり歴史の場所を利用してのイベント泥団子等ワークショップ、参加型が楽しめると思います。
- ・ 夕焼けバー × 4 マシコアースビレッジ
- ・ 夕焼けバーに客として参加してみたいです
- ・ 益子焼だけでなくアートをモチーフにしたまちづくりが益子町には合っていると思う。
- ・ 地域や学生が関わるプロジェクト19,25,26,30,44口

問9

土祭に関わった結果、あなたが習得できたと思うもの全てに○をつけてください。【複数回答】

選択肢	合計
1 自主的に行動する力	49
2 仲間に感謝し思いやる力	75
3 新しいことに挑戦する力	50
4 交渉や意見をまとめる力	17
5 いつも前向きに振舞う力	44
6 計画的に物事を進める力	21
※ 無回答	59

(複数回答のため合計なし)



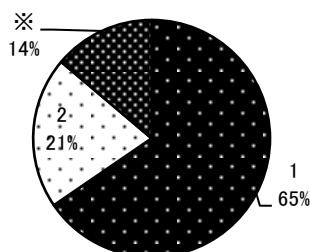
そのほか 自由回答

- ・新しい出会い
- ・会期中だけの参加ですのでなんとも。土に対する認識が少し変わったぐらいです。
- ・協力
- ・協力すること
- ・自治会内の協力がこんなに得られなかった纏まりがない
- ・習得とはいえませんが、土祭前より出来るようになった気がする
- ・知らなかった益子の魅力を知れたこと。力は習得しなかった。
- ・ずっと指示待ち状態でしたが、後半は少し自主的に動けたと思います。
- ・楽しむ気持ち
- ・団結力
- ・土祭によってというものは特にはないです。先人へ感謝する気持ちは更に高まりましたが
- ・丁寧な案内の仕方
- ・特に習得できたことはなかったかな
- ・特に習得できたと思わない
- ・特にはない
- ・忍耐力
- ・人への思いやりの心。地域の活性化をはかる心構え
- ・益子の地理に詳しくなった
- ・友人が増えた
- ・わからないことや困ったことを、その場で解決する力がついた。
- ・分かりやすく説明する力

問10

来年も土祭に参加したいですか？今後も土祭を続けるための意見やアイデアをお書き下さい

選択肢	合計
1 はい	161
2 いいえ	51
※ 無回答	34
合計	246



自由記入

- ・「土祭≡アートウォーク」でよいと思います。大羽地区のアートは、それなりによかったのですが、範囲を広げすぎるのはどうかと思います。最大に広げても駅前からサヤドくらいではないでしょうか。
- ・1カ所には2名以上が必要です。
- ・3年後に自分がどうなっているかわかりませんが、暇ができてやることを見当たらなかつたら、また参加すると思います。
- ・歩きでお祭りに参加される方が多かったと思われるので範囲の検討を。
- ・一般の人と接することが楽しかったから
- ・いろいろ知りえることがあってよかった
- ・多くの人と知り合えてよかった
- ・親子で楽しめるものを増した方がいいと思う
- ・外国語のボランティア
- ・関わると楽しいが、自分自身本当にコンセプトに則っているのかが疑問…。便乗して何でもかんでも…では、いづれ意義が薄れる気がする。そういう意味で関わりの糸口はまだ曖昧かもしれない。
- ・可能な範囲で協力したいと思う。
- ・機会があれば参加出来たらうれしいです。
- ・期間が長い
- ・元気でいられたら
- ・検証、修正し継続
- ・今回のような運営のあり方であるならば、興味のあるプロジェクトへのボランティア、または来場者として参加になると思う。
- ・参加できる状況にあれば
- ・次回は客としてゆっくり見学したり、夕焼けバーでおいしく飲みたい気分
- ・次回も是非！
- ・仕事に差し支えなければ参加可
- ・仕事のスケジュール次第では参加したい。
- ・自分の制作活動に尽力したい
- ・住民との協同と言うことでボランティアは致し方ないと思う。
- ・準備期間中もっともっと応援したい
- ・準備日程に余裕が欲しいと思います。町内の人をもっと巻き込む工夫がほしいです。例えば土祭手書きののぼり。習字の上手な小中学生に頼んだり。製作期間に余裕があれば可能だと思いますよ。
- ・食関係のプロジェクトをもっと増やしてはどうか？
好きな人はいろいろ見ていると思うが、接点が無いと土祭を知らない、人も多い。土人形も一般の人が参加できることを知らない人が多く、次回参加してみたい、という声もあった。いろんな世代の知らない人にどうアピールしていくか。
- ・すごくよかったので同じやり方でいいと思います。
- ・地域からの信頼を得られるようなさらなる住民参加型へ
- ・力仕事関係時はなるべく多くの人を配置していただきたい。
- ・年なので元気でいれば
- ・内容によっては参加したいが特定の人だけが結果に満足しているのではないか。もっと広く意見を聞いて見ては？
- ・入場者として参加したい
- ・年齢から活動からは卒業したい
- ・ヒジサポで参加したいです ×3
- ・美大生、美術専門学生等にもっとアピール来てもらえる様単価を安くするとか
- ・土祭を行うのであれば毎年行わなければ進歩しない気がする。
- ・平日の飲食の出店者をどう増やすか？
- ・ボランティアという言葉に頼りすぎると責任が不明確になってしまうことに注意。
- ・ボランティアを増すと良い(食事賄い前回は比べると少ない)
- ・益子地区中心になってしまうので…。七井地区の方でもやってほしいです。
- ・益子と言わず関西でも開催しましょう

- ・ 益子の為にお手伝いできることはいくらでもしますが・・・いまの形だと考えてしまいます・・・。
- ・ 益子町全体の住民参加があると町を愛する気持ちが育つと思う。
- ・ 町の活性化につながると思い使命と考えています。
- ・ 無理なく出来る範囲で
- ・ もう少し会期が短ければ
- ・ もっと多くの人の手伝いが欲しいです
- ・ もっと簡略に図面説明等
- ・ もっと前から計画の段階から住民に声を掛け、役場と住民がもっと一体となった土祭にしたらもっと良いと思う。
- ・ やりたいことがあったら参加します。
- ・ 若い女性の観光ガイドを多くしたらどうでしょう。
- ・ 若い人が来町し興味を持てば将来につながる。長いスパンでやっていければ！

問11

ボランティアという運営形態や土祭事務局等、運営面についてご意見や改善点等ご記入ください

自由記入

- ・ 良いと思います。
- ・ 市場出店者から「駐車場が近くにある方が良い」「スタンプラリーの場所に指定して誘客を図って欲しかった」「土祭Tシャツを配布してほしかった」等の意見があった。
- ・ イベントの割に人数が少ない
- ・ 意欲ある地域住民を巻き込んで各界各層の力を結集して作り上げる祭は素晴らしいと思いました。ずっと継続していただきたいです。
- ・ 受付業務 前半と後半の担当者への連絡遅かった
- ・ 受付当番の割り当て回数を減らして欲しい(企画チームからも直接依頼されダブルブッキングした)企画チームでなくてヒジサポでも複数のプロジェクトに関わると休日が取れなくなってしまう。
- ・ 受付はけっこう忙しかった
- ・ 受付をさせていただきましたがボランティアに対する事前説明会がわかりにくかった
- ・ 動き出しが遅い感じがした。年度明けたらすぐに説明して各チームの打合せが欲しい
- ・ 遠方から、各自治会、高校生などボランティアさんありがとう。事務局様(4人衆)大変おつかれさま
- ・ 多くの町の職員ががんばっておられました。現場に出てダイレクトに関われることは良かったと思います
- ・ 限られたスタッフ、時間、予算で良く出来たと思います。できればもっとスタッフや予算を増やさないと、なかなか継続し定着させるのが難しいのではないのでしょうか？
- ・ 完全にボランティアとなると数カ月におよぶ準備が必要なプロジェクトは少しモチベーションを保つことが難しいかなと思う。せめて土祭Tシャツが欲しい。
- ・ 基本ボランティアには賛成ですが現状ではあまりボランティアとは呼べない感じがします。本来やりたいからやるのがボランティアであると考えます。
- ・ 気持ちをみんな同じで頑張れるのもっといい
- ・ 救護スタッフの待機場所を工夫して欲しい。ボランティアで参加するには辛かった
- ・ 興味があって参加したい人たちが集まるのはとても素晴らしい。婦人会のみなさんのご飯もよかった。益子だな～という気がした。
- ・ このままでいいと思う
- ・ 今回の形態で良いと思う。役所の人達が仕事の他にこれをするのが少ししんどいかなと。もっと町民に参加させては？
- ・ 今回ヒジサポと言うボランティア形式を採用したが、企画チームよりヒジサポのほうが負担が少ないと思う。次回はヒジサポで申しようと思いました。
- ・ 今回ボランティアとして参加しましたがプロジェクトチームより前もって直接協力依頼を受け日程を組んでいたが・・・土祭事務局より割り当てが来たため日程が重複してしまい非常に困ってしまった(誰かと交換しようにも急な依頼だったため人員がなかなか見つからなかった)
- ・ 今回ボランティアに参加できてよかったし、内容も豊富でとても良かったです。

- ・今後も続けてほしい
- ・さらに多くの町民を準備から巻き込み、町全体で盛り上がればすごいと思います。
- ・参加型はいいと思う
- ・指示系統などの徹底
- ・自身が関わったところしかわからないので、全体的なところはわかりませんが、多少なりとも手当が出るとうれしい

事前にいただいた情報では、ボランティアにガイドブックやバッジの提供がある、ということだったと思いますが、こちらから事務局スタッフに尋ねない限りそれらをいただけることはありませんでした。また、スタッフ間で何をボランティアに渡すのかについて共通理解が不足しているようでした。「ボランティアでやってあげている」というような気持ちは全くありませんが、やはり手渡されると言われたものについてスムーズに対応して頂けないと、気持ち的に良くないものです。それから、事前説明会の日時連絡は、余裕を持ってお願いします。

- ・自分たちができることをお手伝いさせていただけるという気持なので今回のボランティアという型で良いと思います。
- ・自分の仕事に支障のない程度で従事できれば良いと思う。
- ・自分の都合のよい時に参加できる、気楽なボランティアなら良いです。
- ・事務局がもっと多くのスタッフが必要では？
- ・事務局は大変だと思います。お疲れ様でした。頑張っていると思います。
- ・地元住民が参加する形態は良かった。今後は自主的に参加意欲が出るように、事前に住民意向等も反映できれば参加率も高くなるのでは。
- ・収益性(WS)については住民プロジェクトとして、関わって下さった方へ還元していける方向性が良いと思いました。

住民プロジェクトに関してはただの連絡係状態で、正直土祭に参加したという感覚はなかったです…。事務局からお願いされたことをただ伝えるための連絡係というだけではおもしろい仕事ではなく、最後も来場者数集計をお願いされ、それが終わったらまたアンケートも配ってくれと言われ二度手間でした。各住民プロジェクトに参加した人も、土祭と一緒に作り上げた感覚を持った人はほとんどいないのではないかと思います。ボランティアの人もただ言われたことをやるだけみたいなのがほとんどだったように思います。もう少し運営面から町民やボランティアが関わり、みなで土祭を作り上げるという雰囲気を作らないと、ただ雑用を押しつけられただけと感ずるのではないのでしょうか。

- ・準備期間が短すぎです
- ・準備の期間を長く(半年)とって余裕を持って参加していきたい
- ・職員間で労力に差がありすぎる。振替や時間外対応なくても、どのくらい人員・時間が必要なのか把握するために土祭関係業務の時間を記録していてもよかったのでは。

素晴らしい祭だと思います。運営については手が足りず、ご苦労も多いでしょうし、ちょっと参加したぐらいの人間からとやかく言うようなことは慎むべきだと思います。しかし、クリエイターの展示については瑕疵の無いよう、配慮が必要です。そのあたりの意識が若干希薄なのではないのか、と感ずる出来事がいくつかありました。

- ・専任事務局で運営できたのは良いと思う
- ・たくさんの調整などありがとうございました。予定をもう少し早く組み立てていたら、スムーズに動くことができたり準備できることもあったなと振り返ると思いますが、いろんな方の力で期間中まわすことができ、改めてすごいなあと思いました。

単純に事務局の人数を増やす必要がある。そしてその組織作りと、そこにどのようにボランティアを絡めていくか？の検証を行う必要がある。また、町民との意見交換を頻繁に行い、企画内容の理解と一緒に作り上げていくという意識を高める努力が必要だと思う。

- ・地域コミュニティの住民プロジェクトを実施するということから、役場中心の運営形態で良いと思います。地域によっては住民意識がやってやっているという考え方の所があり、ボランティアは町の職員のような扱いで自分の担当外まで手伝いを強要されるような光景を見た。気持ち良く手伝ってはいたがそういう行動はいかがなものかと思いました。
- ・町民主体のイベントにするべきだと思う
- ・町民全体の土祭になっていない。出てくる人は決まっており、新しい参加者が少ない(新しい参加者の開拓)
- ・町民のボラが多方面に欲しい
- ・土祭事務局は大変だったと思います。ご苦労様でした
- ・展示の仕方に工夫を要する(説明添付と展示名の一体化を)
- ・とてもみなさん頑張っていたと思います

- ・人数が多いので周知徹底をいかに計るか
- ・土祭企画のスケジュール等わかりづらい面もあったが良く運営されていたと思う。
 - ・土祭期間中に合わせていろんな団体がイベントを合わせてきたが、似たようなものもあり、観光客に若干の混乱があった。似たようなイベント(スタンラリー)などは共催で実施できないか？
- ・ヒジサイの事務局の人数を増やす。
- ・土祭事務局様は大変おつかれさまでした
 - ・プロジェクトにもよるが、住民による自主的な運営と言う形を実現できないと本来の目的が達成できないと思う。そのような働きかけが一部のプロジェクトでさらに必要と感じた。
 - ・ボランティア運営形態は3年に1度くらいならばよい思います。(毎年では無理)事務局は大変だと思えます。今年は専任にしたのはよかったと思えます。
 - ・ボランティアが居なければ予算的に無理でしょう。必要かと思えますがもう少し優遇されたらいかがでしょうか。
- ・ボランティア活動がより増加すると土祭が活性化する
- ・ボランティア参加型が一番のぞましい
- ・ボランティアでもお金の出せるところは出して欲しい
- ・ボランティアとは言え、やる気のある人を選ぶべきだと思います。
- ・ボランティアにばかり頼りすぎている
 - ・ボランティアはやりたい、関わりたいという気持ちがあるが、それがなく無理強いで行っている。それはボランティアではない。ボランティアでやる場合1カ所に1人受付配置はやめてほしい。ボランティアでは責任がないので急にキャンセルされても文句が言えません自分で代わりを見つけてきてとも言えません。
 - ・ボランティアをお願いするということは、その人にとって何かプラスになると思ってもらえないと難しい。今の土祭のプロデューサーに依頼している以上は、例えば祭りの若衆にお願いしたとしても、祇園祭など人から注目を浴びるような「プラスになる」ことは提供できない。事実、今回の「彫刻屋台の運行」はメインコンテンツではなく住民プロジェクトになっている。
 - ・土祭事務局の人数が少ない最低8人はいないと周りに迷惑を掛けて何とか成り立っている状態。しかも、遂行に手一杯で準備・状況把握・検証・改善・フォローなどが疎かになる。関係者の不満の種。
- ・ボランティアを育てていく又世話をするのは手間がかかると思いますが続けて下さい。
 - ・ボランティアを募集する仕事の内容をはっきりと打ち出してからの方が良いと思う。自分にできるボランティアはないか？と思いながら募集要項を見るわけであとでどんな仕事が提示するというのでは後手に回ってしまえば人は集まりにくい。募集要項はインターネットだけでなく具体的なものを誌面に書いて目で見えるような形にしないと一般住民には伝わらないと思う(インターネットが出来る人ばかりではないので)
- ・益子町一部ではなく七井田野と広い範囲で行うといい。今年大羽に広めたように
 - ・町をあげてやるのであればボランティアで参加するとゆうのはいいと思うが祭全体の意味がよくつかめなかったのが残念でした。
- ・皆さん、非常によくやってらっしゃったと思います。ただ人手が足りてない雰囲気で大変そうでした・・・。
- ・もう少しボランティアの人たちを前に出して欲しい。
 - ・役場職員の方が業務時間内に受付などのスタッフに多数いました。本来の仕事がどうなっているのかはともかく、ボランティアではない気がします。
 - ・役場の担当者を中心にスタッフたちは本当に頑張っていた。私たちもボランティアとしてできるだけ応援したつもりだがもっともっと応援したかった。事務局とボランティアとのネットワークをさらに深めていった方が良い。
- ・やる人とやらない人の差が大きすぎると思いました
 - ・夕焼けバーが非常に暗かったし音響もないというのは祭りとしては如何かなと思う。非電化や省エネは理解できるが総合プロデューサーが末端まで知らせていなかったのでは。総合プロデューサーに対し周りがガードしすぎに見えた。
 - ・夕焼けバーで飲食物を販売する場所が暗い。安全面を重視したほうがよいのでは？(馬場プロデューサー関係の会場担当者と検討した方が良いでしょう)
- ・わかりませんが、不満はありません。Tシャツのサイズを大きいものを作って下さい。

問12

その他意見がありましたら、自由にお書き下さい

自由記入

- ・あまりにも盛り込み過ぎていて全部回りきれない。スタンプラリーの景品はもっと増やしてもいいと思う。全部回った人にはバツくらい全員にあげてもいいと思う(その場で)
- ・案内書類はもっと大きな文字で高齢者でも読みやすいように工夫すると良いと思います。
- ・エコバックの作り方などとても参考になりました。自治会の人や友人等に教えて喜ばれた。又エコの大切さを更に考えさせられた。
- ・お客さんにとってそばに駐車場があった方が親切です(足の悪い人もいるので)
- ・お疲れ様です
- ・会場は徒歩散策可能な範囲にあるとより便利かなと思いました(お客様からの意見)
- ・外部の人ばかりの作品が展示されていたり、それで地元の何を見つめ直すのか共感ができなかった。理解しようと思ったが理解できなかった。鶴亀食堂で町側は「水は出した方が良い」とか「飲み物もつと安い方がいい」とおもてなしの提案をしたにもかかわらず無視された。そんなところに依頼をだすとかやめてほしい。
- ・企画チームとヒジサポの事務量の差が大きい(事前に企画チームになる打診が欲しかった)田野・七井でもイベントの開催が必要では?(ベイシア裏通り等を利用)
- ・このアンケートそのものがおそい気がする。配布された雑誌あまり小さい字で年配の人には読みにくいし、あんな立派な本、他に利用(陶器市等で)する事も出来ず1回きりではもったいない気がする。
- ・今回2回目の開催ですが、主だつて関わった人はメンツが固まっている。その他の町民へもっと浸透しないと町の祭りには局所的で、今後は厳しいとも感じる。一部の住民やメディアで盛り上がりすぎて自己満足せず、益子の祭として定着させるのであれば、やや難解な祭りのコンセプトを広く伝えるカギになるのかなと思います。
- ・今回参加してコンセプトがしっかりしていればそれぞれのプロジェクトが進んでいく中でまとまりあるものになっていくことが分かりました。唯一無二のこの祭お祭これからも質を下げずに町・人を巻き込んで楽しいものにしていって下さい。
- ・今回地藏院綱神社みたいに益子のPRを兼ねた場所を今後も入れた方がいいと思います
- ・今後の土祭について、やはり範囲を広げすぎないこと。土祭はやはり旧益子の町のみで行うのが良いと思います。大羽地区などは別のイベントとしてはどうでしょうか?
- ・コンセプトが、先人への感謝や、自然環境と人々の生活の関わり方、豊かな暮らし方など、今の時代に合ったもので良いと思います。もし交流人口の増加が目的の一つであるとすれば、楽しい雰囲気、ワクワク感など感じられるものももっとあった方が良くと思いました。
- ・知っている人は知っているけど目的が何か分からない
- ・事務局がしばらくの間残業続きで休みも取れずとても大変そうだった。係内の職員が期間中土祭に掛かりきりで事務に支障が生じた。期間が長い。
- ・事務局の方々、大変おつかれさまでした。皆様の努力には大変感謝しています。
- ・事務局の方大変おつかれさまでした
- ・事務局の方は大変であったと思います。お疲れ様でした。
- ・事務局の皆様本当にお疲れ様でした
- ・職員の皆様大変ありがとうございました
- ・食材をたくさん寄付して頂いて感謝です
- ・食事賄いは必要ない。他の食堂等でとれば良い。竹の作品はムダが多い。
- ・すごく大変だったと思います。お疲れ様でした。
- ・成功している地域おこしのイベントを見ると住民が自分たちの住む所を知ってもらおうという熱気を感じる。企画に参加しているだけではのびていかないだろう。
- ・生徒達が大変お世話になりました。技術向上と体験機会の増加の意味でも貴重な経験でした。
- ・全般的にはとても良い土祭だった。役場の担当の方の一所懸命さご苦労がよくわかったお疲れ様でした。役場の人達の意識がひと昔前より変わっている素晴らしい。馬場さんの力を改めて思い知った。全町民が馬場さんの土祭そのものの素晴らしさを知ってくれたらいいなと思った。

総括として、今の形の土祭であれば完全に外向きのイベントと言い切ってしまうと実状との矛盾に不満が出るだけ(そのフォローなどもないまま)。運営を「ボランティア」「祭り」という形態に持って行くのであれば、祭りを盛り上げる・形づくる人たちがメインのプロジェクトを担うような仕組み(事務局を担う)・プロデューサーにすべき。今の状態では掲げているテーマと現実とのギャップがあり過ぎて不満が出るだけ。

また、土祭は“イベント”ではなく“益子の暮らし”に関わるものであると町長はおっしゃっているが、そうであるならば日常から土祭の考えや取組を取り入れるべきである。先日、商工会青年部が「夕焼けバー」というTシャツを着て陶器市で焼きそばを売っていたのを見て、「夕焼けバーのTシャツを着るのであれば、単に焼きそばを売るのはなくもっと工夫をなさい。」と注意をされたと同じでした。決してそうではないと思います。暮らしの部分で、日常から土祭の精神を益子町民に持ってほしいというのであれば、陶器市だからOKとかTシャツを着ていたらNGとか言っているようではダメ。土祭は特別、3年に1回のイベントなんだからその時だけ頑張る工夫をなさいと言っているようなもの。

本当に土祭の考えを益子町民に伝えたいのであれば、土祭担当だけでやっていくのではなく、町全体の方針として、全課全職員、ひいては全町民で取り組むべきではないでしょうか。例えば農政課でもマーケットを立てるときはコンテナでの販売は控えたり、折畳み式の竹テントをつかったり、環境のイベントを行うのであれば太陽光パネルを設置し、太陽光から電気をとっているのを見せたりなど。そうすれば、土祭の精神が少しでも多くの住民に浸透するのではないのでしょうか。土祭ではこうしているのに、別の課(ところ)では全く違うやり方をしている以上は、根付くはずはありません。3年に1度くる“ちょっとメンドクサイ”イベントで終わるでしょう。

・ 竹テント良かったのですが、雨対策をどうするか？ブルーシートを掛けているかたがいたのでどうしたものか？

・ 楽しい経験ができました。お世話になりました。

町長も言っていましたが、土祭はイベントではなく祭なのだから、もっと地元ありきのやり方ができないものかなと思います。今のやり方だと対外的な益子のPRイベントという要素があまりにも強いと思います。どうしてもそこに土祭のコンセプトやキャッチコピーとのズレを感じます。もっと町民が積極的に参加できるような運営形態や、プログラム内容を考えなければ続かないのではないかと思います。ただ、事務局の板野さん・加藤さん・蓑田さん・雨海さんは本当にお疲れ様でした。

・ 町内の子供達に必ず見てもらえるよう授業の一環で見学できる時間があると良いと思います。

・ 町民の手による祭りとしては、町職員が関わらなくても運営できる祭りへと発展してほしい

・ 通常業務との調整が可能であればもっと関わりを持ちたかった

土祭事務局スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。これだけ大きなプロジェクトに関わることができて新たな気付きも多かったと思います。益子町民、ヒジノワメンバーとしての今までの役割は多少果たせたと思います。

・ 土祭終了からしばらく経っているので、アンケートはないものと思っていました。もう少し早い時期の実施が効果的だと思います。

・ 土祭の目的がよくわからない。もっと徹底して下さい。

土祭を通して他から来た方たちは益子の新しい魅力に触れてくれたと思う。私も今回2度目の協力だが展示されたアートや土祭の趣旨がよくわかったような気がして大げさに言うと目からうろこが落ちた気がする。3回目は3度目の正直という通りさらに益子の魅力を発信させていきたい。

・ 展示だけでなく光る泥団子などのワークショップがもっとあるとよい
伝達がされていない

・ 伝統芸能なども発表の場がありよかった(文化財なども活用したのもよかった)

・ 桃源郷益子この言葉は素晴らしい響き。土祭とマッチさせてひろめてほしいですね！

・ 発表の台がせまかった。お客さんがどこから見ていいかわからなそうで(四方)演奏する時やりづらかったし音が響かなかった(四方空いていたので)

・ 土祭URLにおいてプロジェクト会場ごとの地図を載せておき、携帯やスマートフォンでの道案内に利用できるようにはできないでしょうか？

土祭おつかれ様でした。私個人としては土祭に関わることができ、本当に良かったと思っています。自己満足で終わってしまっただけではいけないかもしれませんが、土祭の準備、会期を通して自分の至らないところを沢山発見し、仕事に繋がる町の課題にも触れて、土祭前と比べると、仕事で取り組むべき事が明確になりました。(取り組む課題が明確になっても、それを解決するためのスキルがありません。(今あるとすれば体力ぐらいでしょう)今の自分ができること精一杯力を注いだつもりです。土祭についてそれぞれ自分の立場で考えるところがあると思います。何を考えるか「町の未来」「行政と住民」沢山かかえる課題を考えるきっかけのひとつが土祭だったのではないのでしょうか。土祭でなくても、町を良くするための大きな取組をしたら切り口やプロセスは違えど、町が内包する課題に(土祭と同じように)行きつくのではないのでしょうか。結論としてはどんな手法をつかっても痛みや苦悩が伴うのであれば、できるだけ自分も関わる人も楽しめるように、自分自身が変わっていくことが必要だと思いました。

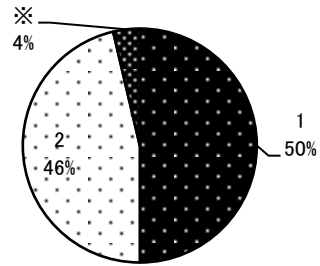
- ・ 土祭開催することで町の利益にもつながるように何か考えたらよいと思う。
土祭がどういう事をやるのかまだまだ他県には伝えられていない面が多い様です。県内でも沢山いるようですのでもう少し宣伝し多くの人に楽しんでいただくと良いと思います。
- ・ 光る泥団子作り講習から打ち上げ会まで参加させていただきました(他町から)ワクワク体験でした。ありがとうございました。写真もいただいて…
- ・ 土祭グッズ(サンダル)を用意してほしかった。どこに行っても売り切れだったので。
- ・ 土祭ストアにもスタンプラリーの場にして欲しかった
- ・ 非電化冷蔵庫をもう少し前に出して欲しかった
- ・ 土祭とは外れてしまいましたが、「益子の景観」について考えることが町全体で必要かと思う(美しい里山の風景や町なみを守るためにも)景観条例など、景観に対する町民の総意を得ることが必要だと感じます。偏見かも知れませんが、町民全体を見ると少し偏っていると感じます。全然関係はないとしていた町民も居た様です。町全体、町民全員に土祭の楽しさを知らしめる必要があります。
ボランティアとして1日のみの参加させていただきました。作り手のかたと直接会話する機会があり、嬉しく思いました。事務局の方にも親切にいただき、知らない土地に知り合いが増えたようで、良い経験になりました。
- ・ 本当に事務局の方お疲れ様でした。
- ・ まかないが美味しかったです。
- ・ 益子に来てくれた方の感想などがまとまれば知りたい
- ・ 益子はいろいろなイベントをすることはいいことだと思います。
- ・ 益子町全体をもっとくわしくPRして欲しい。町内外の方から土祭とは何なのと何人の方から質問がありました。
- ・ 町も商売を考えた方がいいと思う。金を儲けろ！税金を当てにするな！
- ・ 皆さまお疲れ様でした。素晴らしい土祭を形にいただきありがとうございました。
- ・ もう少しコンパクトにまとめて町民等がイベントの全体像を把握できるようにした方がいいと思います。
- ・ もっと子供でもわかりやすい展示があると良いと思います
- ・ もっと食事をしに来て下さい。余ってしまいます。
- ・ もっとテレビでのPRを計画したらいいと思います
- ・ もっと益子町の住民や団体が参加できないか
役場の方から「予算がない」ということをよく耳にしましたが、土祭は予算が付いているのですからどのように使われたのか明確にしてほしいと思います。なるべくなら町内にお金落ちるように出来たら良いと思います。竹テント製作などなかなか人手と時間がかかるものですが、市場などは特別に設けず地元にもともとあるお店の紹介や、民芸店の前に農家の方が出店する等負担を減らしてかつ相乗効果を狙える方法が考えられないのでしょうか？
- ・ 夕焼けバーでのライトが暗く、お店でのお金が良く見えなくてとまどった。テーブルでも暗くて何食べているかわからないと周りの人達も言っていた。
- ・ 夕焼けバーなどはいくつかの店舗を増やすと良いと思う。食べ物には注意(特に暑い日)
- ・ 夕焼けバーの照明が暗すぎでは調理できない補助照明の設置をお願いしたが却下された土祭のコンセプトを守るということは理解できるがお客がメニューも見えない状態暗さは問題だと思います。
幼児や高齢者にとって展示までたどり着くまで辛い状況がいくつか見受けられました。あまりバリアフリーとかのたまたまと展示もつまらないものになってしまう、トレードオフなのかも、とも思うのですが、そこは彼らに対しても代替の展示の機会や、介助ボランティアを提供したりとか、配慮してもらえればと考えるのです。人手と手間がさらに必要になってしまうのですが。
- ・ 私は初めてなのでこれからもできることはやりたいと思います

問13

最後にあなたについて教えてください

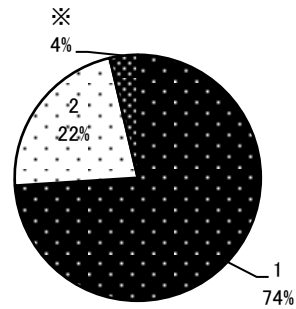
性別

選択肢	町民
1 男	123
2 女	114
※ 無回答	9
	246



お住まい

選択肢	町民
1 町内	182
2 町外	55
※ 無回答	9
合計	246



年齢

選択肢	町民
1 10代	39
2 20代	19
3 30代	41
4 40代	38
5 50代	50
6 60代	35
7 70代	16
8 80代	3
※ 無回答	5
合計	246

